

国会愚弄の暴走 許さない

安倍政権 一刻も早く 退陣へ

「数の力」で採決強行 入管法など

来る参院選で厳しい審判を

安倍自公政権は、外国人労働者の受け入れを拡大する改定出入国管理法などの採決を8日未明の参院本会議で強行。志位氏は“安倍政権の国会を愚弄する暴走”として、1. 憲法審査会の一方的開催、2. 外国人労働者受け入れを拡大する出入国管理法改定案の衆院通過の強行、3. 日領土問題で、河野太郎外相が、交渉に臨む政府の基本的立場を「交渉に不利になる」と答弁拒否の態度、さらに漁業法大改悪など“日程ありき”で採決が強行されたことを批判。

「国会を愚弄する暴走はあまりにも目に余る」、「来る参院選で厳しい審判を下し、一刻も早く安倍政権を退陣におい込む」と決意を表明しました。



市民と野党の 共闘の発展こそ最大の力

●参院選 1人区の本化確認

5野党1会派

—市民連合シンポジウム 11月28日—

安倍改憲阻止と政権打倒にむけた「市民と野党の共闘の実現をめざすシンポジウム」が都内で開催されました。日本共産党、立憲民主党、国民民主党、無所属の会、自由党、社民党の代表が参加。—来年夏の参院選で全国32の1人区での候補者の1本化を確認しました。



「しんぶん赤旗」提供

「真剣な議論すすめたい」・小池書記局長

日本共産党の小池書記局長は、「沖縄県知事選で勝てたのは新基地建設反対という明確な対決軸を掲げ、本気の共闘が実現したから」、「すでに1人区1本化は共通の思いのはず。まず野党間でそのことを確認し、具体的な議論に入っていき時期。1人区で1本化する真剣な議論を政党間で進めたい」と決意を語りました。



小池書記局長

安倍政権は倒せます。

志位氏は2日TV番組で田原総一郎氏と対談。安倍首相の権力維持の「3つの手口」を解明。1つは、悪事を忘れさせる。2つは、強権で国民をあきらめさせる。3つは、国民に分断をもちこむ—やり方だと。そのうえで、「来年の参院選で、『悪事を忘れないこと』、『あきらめないこと』、『市民と野党の共闘つくり審判を下すこと』—で安倍政権を倒すことができる」と語りました



対談する志位和夫委員長

東海ブロックニュース

2018年12月号外 日本共産党の見解を紹介します。
発行/日本共産党国会議員団東海ブロック事務所
〒460-0007 名古屋市中区新栄 3-12-25
TEL.052-264-0833 FAX.052-264-0850

ジャーナリズム、いまこそ 真実、共同、スクープ

しんぶん 赤旗



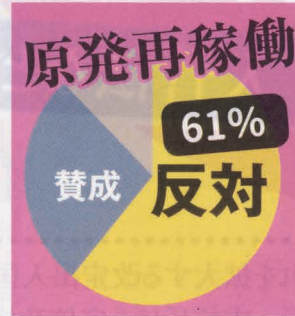
日刊●月 3,497円
日曜版●月 823円

日刊紙には
電子版もあります



参院選・
統一地方
選挙で審判!

安倍政権ノーの思い 日本共産党へ



参院本会議で質問にたつ井上哲士参議院議員 12月3日

臨時国会への改憲案提出「日経」テレビ東京、9月21～23日調査
消費税10%に引き上げ(来年10月)「共同」9月20、21日調査
原発再稼働「朝日」2月17、18日調査

民意無視 もうごめん

—日本共産党は提案します—
平和のための
5つの緊急提案

- 安保法制=戦争法 廃止
- 大軍拡計画中止、軍縮へ転換
- 日米地位協定の抜本改定
- 「北東アジア平和協力構想」実現
- 核兵器禁止条約、日本政府署名・批准を求める

暮らし第一で 経済立て直す5つの改革

- 賃上げと労働時間の短縮を
- 子育てと教育の重い負担軽減を
- 社会保障削減やめ充実へ転換を
- 日米FTA中止、経済・食料主権を尊重するルールを
- 巨額のもうけがころがりこんでいる富裕層、大企業に応分の負担を

来年の選挙で日本共産党を伸ばしてください

私たちは、
やります



すやま初美
愛知選挙区(定数4)



鈴木ちか
静岡選挙区(定数2)



高木光弘
岐阜選挙区(定数1)



中川たみひで
三重選挙区(定数1)